



輝くあさひ

第 58 号

発行 朝陽地区住民自治協議会
 会長 佐藤 栄一
 編集 広報部
 印刷 株式会社 双真



「仲よし」写真提供…高山三良様（石渡）

新年のごあいさつ

令和3年度 朝陽地区住民自治協議会 会長 佐藤 栄一

新年、明けましておめでとうございます。朝陽地区の皆様におかれましては、令和4年の新春を晴々しいお気持ちでお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

さてご存知の通り、昨年は新型コロナウイルスが引き続き猛威を振るい、恒例の朝陽地区成人式が中止となるなど住民自治協議会の活動は大きな影響を受けました。

しかし活動継続の重要性に鑑み、コロナ感染防止の新生活様式ガイドラインに沿い、一部事業や会議等は人数制限や時間短縮を図り開催して参りました。関係の皆様には敬意と感謝を申し上げます。

ワクチン接種も進み、コロナ感染が抑えられるかと思いましたが、8月に全県感染警戒レベル5「新型コロナウイルス特別警報Ⅱ」発出の事態となり、前々から予定されていた‘ようこそ市長室へ’も急遽中止となりました。

朝陽地区の要望「総合市民センター」（仮称）早期建設へ向け、アピールの場を失い誠に残念でした。今年、改めて取り組みを図ります。

これからも住民自治協議会は課題に取組み、今のウイズコロナを前提とし大変厳しい運営の中、次年度へ向け活動を促進します。各関係は基より、各区の皆様のご協力を切にお願い申し上げます。

コロナ状況は不透明ですが、昨秋は朝陽地区に新市長が誕生しました。アップデートのご活躍に大きな関心を持ち、継続と新しい展開に期待を寄せます。地域の発展と安心安全なまちづくりを目指して、皆様と共に事業推進して参ります。ご理解ご協力をお願い致します。

令和4年、新春の門出にあたり謹んで各区皆様方のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。本年も変わりませずご支援を賜ります様、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



<新年のご挨拶>

朝陽支所長 清澤 清

朝陽地区の皆様、明けましておめでとうございます。お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃は、朝陽地区住民自治協議会関係者をはじめ地区の皆様には、行政運営にご理解、ご協力を賜り心から厚くお礼申し上げます。

さて、昨年も新型コロナウイルス感染拡大の影響で日常生活が制限され、私たちは緊張感の中での生活が続きました。地域での活動や交流は工夫され行われたものもありましたが、会食や旅行、学校行事、文化活動等の機会は減ってしまいました。新型コロナ感染が一日も早く収束し、人と人とのつながり、ふれあいといった大切なものを取り戻したいと願うばかりです。

朝陽地区では地域福祉活動の一環として、平成30年発足の「ささ愛あさひ」（朝陽地区協議体）の場で定期的に地区の課題や支え合うまちづくりに関する活動について話し合っています。個人の力には限界があります。相手を思いやり、共に支え合って生活していくことがとても大切です。朝陽支所においても皆様と一緒に考えてまいりたいと思います。

令和4年におきましても、朝陽支所は地域の様々な活動に参画・支援してまいります。引き続き、職員一同よろしくお祈り申し上げます。本年が、朝陽地区の皆様にとって、明るく輝ける年になりますようお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

朝陽地区住民自治協議会
 （事務局）長野市北尾張部226-9
 電話・fax 026-219-1068
 ホームページ <http://asahi-jk.jp>

朝陽地区人口：15,124人（-9） 6,413世帯（0）
 =2021年12月1日現在。（ ）内は同年前月比
 （内訳）南屋島 806人（-2） 北屋島 509人（0） 北長池 2,620人（-4）
 北尾張部 2,429人（+5） 石渡 2,609人（-2） 南堀 2,680人（-12）
 北堀 2,654人（+6） 桜新町 817人（0）

高校生のそば打ち披露 北堀

11月3日10時から公民館主催の「きたほり教養講座」が開催され43人が参加しました。今回は長野吉田高校戸隠分校のそば部の生徒が「そば打ち披露」を行いました。今年の全国大会では団体戦で優勝、個人戦で3位という好成绩のメンバー。お揃いのTシャツとバンダナを頭に巻き、若き職人が見事な技を披露してくれました。実際の競技形式の40分間。手元の動きはカメラで撮影しステージのスクリーンに投影する演出もあり、手際のよい動きがリアルに分かりました。まずは繊細な水回しから始まり、戸隠そば伝統の一本棒を使い丸延し、最後は打ち粉を敷きそば切りへ。完成したそばは抽選で10名の方にプレゼントされました。伝統の食文化に触れた貴重な講座となりました。



コロナ禍での槻井泉神社「秋祭り」 南堀



9月26日に槻井泉神社の本祭りが行われました。今年も新型コロナウイルス感染拡大防止の為、前日に行われている神楽巡行・宵祭りは中止になりました。しかしながら神楽奉納は無病息災・疫病退散・五穀豊穡を祈る重要な儀式。この大切な伝統を絶やさない為にもこの日の本祭りにて参加者を制限して実施されました。まずは、神事(宮司による祝詞奏上・玉串拝礼)が行われ、その後社殿にて獅子舞(本舞)の奉納がされました。獅子舞が始まると、笛や太鼓の音を聞きつけた近所の方が集まり出し、遠巻きに見学されていました。

鴨がいる風景 桜新町

秋晴れの広がる午前のこと、子供達と散歩をしていると桜神社の横の川に鴨が楽しそうに泳いでいました。天気がよかったこともあり、いつもより鴨が多く泳いでいて、小さな子鴨も一生懸命、母鴨に置いて行かれないよう親の後ろをついて泳いでいました。そんな姿を見た時に、「人間にそっくりだな」と思いながら親近感がわいてきました。晴天、紅葉、鴨のいる風景が秋の桜新町に映えていました。今年はコロナにより、当たり前だった光景がより幸せに感じたり、嬉しく思ったりする一年間だったと思いました。



「文化祭・講演会」開催 北尾張部



10月31日に文化祭と講演会が2年ぶりに北尾張部公民館で開催されました。今年の文化祭は、新型コロナウイルス感染対策として舞台発表は中止され、書道や写真・生け花などの作品の展示のみとなりました。新型コロナウイルスの影響でサークル活動等が制約されたこともあり、出展された作品は例年より少なめでした。また、午前中には人権啓発をテーマにした秋の講演会もあわせて開催されました。こちらも毎回講師による講演をお願いしていましたが、今年は「障害のある人と人権～誰もが住みよい社会をつくるために～」というビデオの上映に変更され、展示作品を見学した人たちが聴講していました。

会場では朝陽地区の特産品として定着した感のある菊芋焼酎の販売も行われ、中には大量に買い込んでいく人の姿もありました。

民話の語りとアルパの演奏演奏会 石渡

10月31日、石渡長寿会秋の文化講座「民話の語りとアルパの演奏会」が石渡公民館で開催されました。

北信地方の語り継がれた民話を次世代に伝えていきたいという仲間が集まり結成された「しなのの伝説をかたる会」により、中野の畔上家に伝わる約700年前の古文書「高梨由来記」に沿って書かれた北堀在住の牧豊子さん作の「黒姫物語」など7話を語っていただきました。素晴らしい語り部から民話の世界へ誘って頂きました。

アルパ演奏では、奏者の小林ユキ子さんは、パラグアイの民族楽器、アルパに2001年に出会い、毎年東京で開催されている「春のアルペジオ」に参加出演し、長野では「しなのの民話を語る会」とコラボして演奏活動を行っています。

師匠のルシア塩満氏の作曲で、朝ドラの主演歌にもなった「春風にのって」を始め、アルトパラマなど8曲を演奏していただきました。「浜辺の歌」及び「ふるさと」は、皆さんで唄いましょうと言う事で、アルパの演奏にのせて唄い、楽しいひとときを、過ごしました。



人権問題研修会 北長池



11月5日、北長池公会堂にて人権問題研修会を行いました。

今年は、新型コロナウイルス感染症の感染対策として、参加人数を制限しての開催となりました。“身近な人権問題について考える”～ジェンダーの視点から～と題し、長野県人権啓発センターから講師をお迎えしました。日常の何気ない生活での言動や一言にも視点を変えると色々な捉え方があり、スライドを見ながらのお話は大変わかりやすく身近な問題として理解できました。研修の最後は、「目指す社会の方向性」について考え、お互いが支え合いながら共に生き、一人ひとりの人権が尊重される豊かな社会、誰もが今より自分らしく生きられる社会にしていけたら良いのではないかと締めくくられました。

『秋の文化祭』開催 北屋島

10月24日に公民館主催のもと、第45回北屋島文化祭が北屋島公会堂にて開催されました。文化祭では、新型コロナウイルス感染拡大予防を実施し、生け花や絵画、写真、盆栽、手芸作品や自由研究など子供から大人まで芸術の秋にふさわしい区民の方々の力作が展示されました。北屋島の学術的資料では、過去の災害から防災について学ぶため、学生から作者に質問されているのがとても印象的で、若い世代へも北屋島の歴史が伝わっていくよいきっかけになるのではないかと感じました。今年は多くの行事が中止となる中、天候にも恵まれ、多くの方が来場されました。久々に顔を合わせるといふ方も多く、区民にとってよい憩いの場となりました。



自主防災訓練 南屋島



6月6日、南屋島区自主防災訓練が実施されました。新型コロナウイルス感染予防のため、例年のような、炊き出し等を含む防災訓練は行わず「地域防災マップ」を用いて、参加者が避難場所の再確認を行いました。令和元年の台風19号災害の際、指定避難場所の駐車場が不足しており、避難所に行きたくても行けなかったという声が多く寄せられました。

今後は親戚・知人等宅への一時避難も視野に入れ、いざというときの対応を日頃より、家族や地域で考えておくべきと思われれます。

緊急に備えた防災行政無線操作の訓練

8月24日、南屋島公民館において朝陽地区の区長及び安全・防災関係者29名が参加し、防災行政無線操作訓練が行われました。長野市総務部危機管理防災課の名川雄一郎氏から、防災行政無線は令和元年度から更新に併せてデジタル化された。従来のアナログとデジタルの違いは、自局放送ができるが特徴で、豪雨などの場合、必要により避難情報（高齢者避難、避難指示）を流すが、それ以前に緊急さし迫ったときに自局放送ができること。又、通信手段が途絶えたとき本局の危機管理防災課と自局との通話ができること。又、アンプの入っているボックスは普段は施錠されているが、鍵は区長及び支所に配ってあるなどの話がありました。続いて、拡声放送（個別放送）と連絡通話の取扱いや操作方法の説明を受け、屋外の防災行政無線装置で、参加者が交代しながら操作、拡声放送及び連絡通話の訓練を行いました。



避難所運営の疑似体験～長野市赤十字奉仕団朝陽分団研修から～

長野市赤十字奉仕団朝陽分団は9月18日、朝陽支所2階集会室において災害が発生した場合の避難所の在り方、運営の仕方などの実践を学ぶため、朝陽地区奉仕団の班長などが参加し、研修会を開催しました。初めに、地域赤十字奉仕団研修推進委員の堀米明恵氏から赤十字防災啓発プログラムに沿って、「台風、大雨、地震、大雪、川の氾濫、火山噴火など災害の状況や複合的に発生する可能性」「誰が助けてくれるのか、公助、共助の実情」「在宅避難（自宅、親戚宅等）」「感染者用宿泊施設等を含む医療機関などの災害が発生した場合の避難場所」「いざ避難、感染の備え」等について講話をいただきました。続いて、家族構成や年齢、それぞれが抱える事情が書かれた避難シールを、避難所に見立てた平面図にどれだけ適切に案内できるか、又避難所で起こる様々な出来事にどう対応するかを模擬体験する避難所体験ゲームに挑みました。



SNSを始めとするインターネットの問題と対策～朝陽地区青少年健全育成推進大会から～

10月16日、朝陽支所2階集会室で朝陽地区青少年健全育成推進大会が開催され、長野中央警察署西澤周作氏より「SNSを始めとするインターネットの問題と対策」と題して講話をいただきました。SNSは、社会的な情報交換グループの活動などのサービスを提供するウェブサイトであり、ソーシャルネットワークワーキングサイトとも呼ばれている。これらの機能はパソコンだけでなく、携帯電話やスマートホンなど、インターネットに接続できる様々な機器で利用できるため、利便性と共に非常に危険性も含んでいる。被害事例や相談事例（県内）から誘拐、児童ポルノ事件、不正アクセス、不正送金、ネットいじめなどが見受けられる。そのため、ネット利用に必要な4つの力として、判断力、自制力及び責任力を持つ。更に4つ目の力として、自分が行った行為が、どのような結果を生じさせるのか十分に「想像」し、その結果に「責任」が負えないと判断したら「自制」して絶対に行わないことなど話されました。



学校法人
理知の杜

松本国際高等学校

通信制長野学習センター

長野市北尾張部385 赤沼ビル 1F B ☎026-243-1379

●家具オフィスプランニング ●OA・IT ●文具サプライ



株式会社

丸 陽

本社・営業部/〒386-0012 上田市中央2-5-10 TEL 0268-22-2400 FAX 0268-27-8787
長野支店/〒381-2206 長野市青木島町綱島490-5 TEL 026-283-1108 FAX 026-283-8108

60歳からのたのしい

インターネット体験

女性講師と
楽しい授業

パソコン教室

町内会の資料作成
パソコンの問題解決

みつぶす

同じ事を100回聞かれても

まずは気軽に無料体験!

笑顔でお答えします!

受付:9:00~15:30(平日)

たのしいパソコン教室 みつぶす若槻校
長野市大字徳間3305ウッド・ライブビル2階 ☎026-217-2239

完全個別指導塾

学研CAIスクール

対象:小学生、中学生、高校生

教科:国語、算数、数学
英語、理科、社会

学校の授業がもっとよくわかる!!

学研の個別指導塾

尾張部教室 TEL (026) 256-9131 長野市北尾張部385